

政府に今年中の全被害者救出を 再度求める 国民大集会



家族会がトランプ大統領と面会(29.11.06)

家族会・救う会は今年1月、「これ以上待てない! 政府に今年中の全被害者救出を再度求める!」との運動方針を決め、安倍総理、加藤大臣等に要請しました。すべての拉致被害者の帰国をめざして、全力で運動を進めてきましたが、認定被害者の拉致から既に40年以上が過ぎ、被害者はもとより、被害者の親の世代は2家族のみとなり、一部の兄弟の世代も高齢化しつつあります。

この2年間、北朝鮮は3回の核実験と40回に渡るミサイル発射を断行したため、国際社会は昨年8月、9月、12月に北朝鮮に強力なダメージを与える国連決議を採択しました。

このような中で、家族会・救う会・拉致議連等の必死の訴えなどもあり、米国を初めとする国際社会は、拉致問題についても強い理解を示すようになりました。北朝鮮は輸出の9割を禁止とされ、石油製品の輸入も9割が禁止となりました。

家族会・救う会は、このような「緊迫する情勢をてこにして、救出のための実質的協議を行え!」という運動方針も決めました。日本が北朝鮮に制裁で強い意志を示すと共に、北朝鮮が全被害者の帰国を決断した上で、実質的交渉に応じるならば、「見返り」もありえるという見解を示しています。

安倍総理は、「北朝鮮が拉致問題を解決すれば未来を描くことができる」との新しいメッセージを出しています。拉致被害者は救出を待ち続けています。政府には、今年こそ全被害者の救出を果たしていただきたいと思っています。

国民大集会を下記により開催します。お知り合いの皆様にもお声掛けをしていただき、奮ってご参加ください。なお、国民大集会のチラシを地域の掲示板や店内等に掲示してくださる方は、救う会までご連絡ください。すぐにチラシを送らせていただきます。

平成30年4月22日(日)

午後2時～4時半 シェーンバッハ・サポー



と き 平成30年4月22日(日) 午後2時から4時半まで

開 場 午後1時(先着順)

と ころ 砂防会館別館1階、シェーンバッハ・サポー

東京都千代田区平河町2-7-4 TEL:03-3261-8386

地下鉄永田町駅(有楽町線・半蔵門線・南北線)4番出口徒歩1分

5番出口(都道府県会館前)はエレベーターあり

赤坂見附駅(銀座線・丸ノ内線)が永田町駅に接続

登壇者 安倍晋三総理大臣(要請中)、加藤勝信・拉致問題担当大臣
家族会・救う会役員、拉致議連役員、知事の会代表、地方議連代表、
各党代表、調査会役員と同家族、櫻井よしこ(司会)

参加費 無料(会場カンパ歓迎)

以下は昨年11月7日、家族会がトランプ米大統領と面会した後、記者会見したもので、その内家族会を代表してトランプ大統領に発言をした横田早紀江さん、飯塚繁雄代表、曾我ひとみさんの発言を要約したものです。会見は、20分の予定が35分に延長された。

◆拉致に言及、家族と面会に感謝

横田早紀江（横田めぐみさん母）

国連総会場で「13歳の少女が」と（娘のめぐみさんなど）拉致問題に言及していただいたことは、私たちにとってありがたいことと感謝しました。また忙しい日程の中で家族に会っていただいたことに感謝し、「よろしく願います」と申し上げました。

◆拉致に強い関心—先に進むための一つの軌跡に

飯塚繁雄（田口八重子さん兄、家族会代表）

私からは、国連総会で、北朝鮮による日本人拉致問題についてははっきりと明言していただいたことにお礼をまず申し上げました。そして、今回の訪日が決まってすぐに拉致被害者に会うということがありました。今まで全く動かなかったことからすれば、今回はかなり大きなイベントだったはずですよ。

我々の立場とすれば、核・ミサイルの問題は当然あるんですが、日本国の最優先課題である拉致問題については絶対に後へは引けないので、安倍総理と協力してやってほしいという願いもしました。

これについて具体的な話はしませんでした。今回の流れの中で、安倍総理と手を組んで進めるという話はいただいたので、今後注視する価値がある、あるいは注視しなければいけないと思いました。

その後、八重子の例を出してお話し、当時1歳と2歳の子どもを置き去りにして連れて行かれた事実について相当ショックを受けていたようです。また、私の隣に座っていた耕一郎を、これが当時1歳だった子どもですと紹介したら、すごく感動的な顔つきで眺めたり、質問したりしていました。

被害者の拉致の実態とそれに対する思いはそれぞれ違いますが、そういうところに非常に関心を持っていたような気がします。今回の面会は、先に進むための一つの軌跡になったかなと感じました。

問題はこれで切れないで、引き続き先に進めてもらいたいという思いが強くなりました。

◆「大統領にもお母様がいらっしゃると思います」と

曾我ひとみ（拉致被害者、曾我ミヨシさん娘）

今日は大統領と会うことができとても感謝しています。私はとても緊張していましたが、大統領が一人ひとりやさしく話を交わしてくださいました。私には、「日本に帰国できてよかったですね」と優しく声をかけていただき、本当にありがとうございました。

その後少しお話をする時間をいただきました。今日は、私が大好きな母の写真（浴衣姿）を持ってきて、一緒に見ていただきました。一緒に拉致されて39年間、まだ母は日本にいません、という話をしました。この写真のように笑顔の母を一日も早く見たいと話しました。

そして、ずうずうしいかもしれませんが、「大統領にもお母様がいらっしゃると思います」と投げかけました。顔きながら私の話を最後まで聞いてくださいました。

まずご挨拶をして、国連の場で拉致問題のことを世界に発信していただいたことへのお礼も述べました。86歳になる母なので一日も早く日本に帰ってきてほしいこと、そしてご協力を宜しく願いますと述べました。

**安倍首相に全員救出実現を
求める、はがき・メールを！**

〒100-8968 千代田区永田町2-3-1 内閣総理大臣 安倍晋三殿
首相官邸のホームページ=<http://www.kantei.go.jp/>の「ご意見募集」利用

4/22 国民大集会

主催 北朝鮮による拉致被害者家族連絡会（代表 飯塚繁雄）
北朝鮮に拉致された日本人を救出するための全国協議会（会長 西岡 力）
北朝鮮に拉致された日本人を早期に救出するために行動する議員連盟
北朝鮮による拉致被害者を救出する知事の会（会長 上田清司）
拉致問題地方議会全国協議会（会長 松田良昭）

事務局 救う会 〒112-0013東京都文京区音羽1-17-11-905
電話03-3946-5780 F A X03-3946-5784 担当=平田隆太郎
info@sukuukai.jp <http://www.sukuukai.jp>（署名用紙・ちらしのダウンロード可）

募金先 郵便振替口座00100-4-14701「救う会」/ゆうちょ銀行 店名019 当座 0014701
みずほ銀行池袋支店（普）5620780 救う会 事務局長 平田 隆太郎（ヒヲリウカウ）